

(社)日本繊維機械学会
「繊維リサイクル技術研究会」

第83回情報交換会

— ドイツにおける環境関連研究の最前線 —

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。下記の通り第83回情報交換会を開催しますのでご案内申し上げます。今回はドイツからTITK（チューリンゲン繊維・プラスチック研究所：ドイツ有数の繊維とプラスチックに関する研究所でベンツやBMWと多数の共同研究を行っている）のレナート博士とカッセル大学（プラスチックリサイクルとウッドプラスチックの研究分野で世界をリード）のスーパーバー博士をお迎えしてドイツにおける環境関連の最先端研究について話題提供をしていただきます。また、関東学院大学の佐野先生からは現在TITKとの間で共同研究されている車の内装材に使用される天然繊維複合材料の消臭研究について話題提供させていただきます。また、講師を囲んだ懇親会も準備しています。万障お繰り合わせの上、参加していただき、環境に優しい社会作りについて熱く語り合ってくださいと幸いです。

なお、準備の都合上、参加の有無を10月30日（土）までに井野宛（FAX:075-724-7636、E-mail:ino-haru@kit.ac.jp）、ご連絡いただけると幸いです（いつもと申し込み先が異なっていますのでご注意ください）。会員外の参加も歓迎しますのでお知り合いの方々もお誘いください。

敬具

記

日時:11月8日(月)午後13:30～17:00(懇親会17:15～19:00)

会場:京都工芸繊維大学・60周年記念会館

京都市左京区松ヶ崎御所海道町 <http://www.kit.ac.jp/01/gakunaimap/matugasaki.html>

**Environmental Research Activities in Germany
(Natural Fiber and Biomass)**

I. 13:30-14:30

“The Influence of vegetable polyphenols on the emission behaviour of natural fibre reinforced plastics”

Prof. K.Sano: Kanto Gakuin University

繊維強化複合材料の臭いの放散挙動におよぼす植物系ポリフェノールの影響

II. 14:40-15:40

“Development of FRP using natural fiber and other fiber in TITK”

Dr. R. Lutzkendorf: Thuringian Institute of Textile and Plastics Research (TITK)

TITKにおける天然繊維等を用いた繊維強化複合材料の開発

III. 15:50-16:50

“Development and technologies for the conversion of biomass to chemicals, materials and fuels”

Dr. Volker E. Sperber: Universitat Kassel

化学製品、材料および燃料へのバイオマスの転換に関する開発とテクノロジー

懇親会 17:15～19:00(会場:KITプラザ)

参加費：講演会：会員無料、非会員2000円

懇親会：3000円